

だれにでもできる！

マイタケ原木栽培

天然のマイタケは味、香り、歯ごたえが良く多くの皆様に好まれるキノコです。現在流通しているマイタケはオガ屑を原料にした菌床栽培で作られたものです。本物の味も求める多くの方々からは、何とか原木によるマイタケ栽培ができないかとの問合せも多く寄せられます。しかし、マイタケ原木栽培は自家用栽培キノコでは栽培が難しいために、なかなか良い結果に結びつきません。

そこで、弊社では短木にマイタケ菌を廻した短木の販売を完全予約制にて行います。短木を露地に伏せ込むことにより、秋には美味しい原木マイタケが収穫できます。マイタケの原木栽培に挑戦してみてください。

【購入の方法】

- ① 予約期間 完全予約制 11月末～翌年2月末まで予約受け付け
※販売は短木1個単位で行いますが、栽培には5個以上が理想です
- ② 販売価格 短木1個の価格 ￥1,500（税込価格） サイズ（直径18cm以上×高さ15cm
コナラ クヌギ）
- ③ 引渡し 5月末～6月中旬に引渡し及び発送を行います。
※発送については別途運賃が必要です。弊社種菌ダンボール3ケース（短木12個）以上は送料無料。

【伏せ込みから収穫までの手順】

- 写真1 → 写真2 → 図1 図2
- 
- ① 短木の到着後6月中旬～末頃に伏せこむが最適
 - ② 伏せこみ場所を準備 穴を掘る
 - ③ 穴の深さは水はけにより決める
 - ④ 水はけが悪い 図1 地下に5cm埋める
 - ⑤ 水はけがよい 図2 地下15cm埋める
 - ⑥ 短木の間隔は写真2のように隙間を開けない
 - ⑦ 隙間にもしっかり土を入れる
 - ⑧ 伏せこみ後3～5cm土をかける
 - ⑨ 直射日光のあたる場所は写真3のように日除けを行う
 - ⑩ 乾燥する場所では梅雨明けから9月初旬は夕方散水を行う 週2～3回
 - ⑪ 9月中下旬からキノコ発生開始 1～2週間後が収穫適期
 - ⑫ 収穫は年1回、夏場の管理を行うことで2～3年発生可能